

令和4年度福島・毛馬出張所管内
新規河川レンジャー展開計画（案）

令和4年2月

目次

1. 新規河川レンジャー展開計画の目的	1
2. 令和4年度展開計画の考え方	1
3. 令和4年度河川レンジャー展開の方向	4
4. 河川レンジャーの推薦人数について	15
5. 令和4年度河川レンジャーの展開について	17

1. 新規河川レンジャー展開計画の目的

新規河川レンジャー展開計画（以下展開計画）とは、各出張所管内河川レンジャー運営会議（以下運営会議）において、所属する河川レンジャーの活動状況等を踏まえ、運営会議の対象区域に望ましい活動内容と活動エリア、必要な河川レンジャーの人員を検討・決定する年度ごとの計画であり、河川レンジャーの募集・決定の基準となるものです。

運営会議は、この展開計画について討議、決定する役割を担っています（**運営要領第59条**）。

2. 令和4年度展開計画の考え方

2.1 視点の設定について

河川レンジャーの役割は、河川と地域との良好な関係を構築することです。

このため、展開計画の作成にあたっては、地域と河川レンジャーの状況の両面から検討する必要があるため、2つの視点から活動の展開の方向を整理します。

視点①地域に必要であると考えられる活動からの展開

地域で展開されている事業をもとに地域の課題を抽出し、必要であると考えられる活動からの展開の方向を検討します。河川レンジャーには「住民と行政の橋渡し役」となることが期待されるため、自治体との連携・協働の可能性という観点も重要です。

- ・ 地域づくりの最上位計画に相当する自治体の総合計画から地域の課題を抽出し、自治体との連携・協働の可能性という観点も含めて、地域で望まれている河川レンジャー活動を抽出します。
- ・ 地域の河川利用で望まれている活動を抽出するため、淀川管内河川保全利用委員会資料等から、河川レンジャーとの連携・協働が考えられる活動を整理します。
- ・ 地域住民の河川に対するニーズを幅広く収集し（アンケート調査等）、今後の河川レンジャー活動に求められる役割を整理します。

視点②河川レンジャーの活動状況からの展開

河川レンジャーは平成15年度にスタートしており、すでに地域に根ざしたものとなってきています。このため、これまでの活動状況をふまえた展開計画の検討が必要です。

- ・ 来年度に展開される活動分野、地域を整理し、検討のベースとします。
- ・ これまでの河川レンジャーの活動状況から、展開されてきた活動の分野と地域を抽出します。

検討をふまえ、作成した展開計画案は最終ページに掲載しています。

2.2 河川レンジャーの人員について

河川レンジャーの人員は、出張所ごとに若干名と定められています(運営要領第 19 条)。現在 1 出張所あたり最大 5 名を目安とした運用を行っています。

2.3 河川レンジャーの活動範囲について

河川レンジャーは、国土交通省が管轄する範囲（7 つの出張所が分担して管理）を基本に、その沿川地域も含めて活動を行うことができます。

河川レンジャーはそれぞれ運営会議に所属しており、その運営会議を構成する 1～3 つの出張所の管理範囲をあわせたものが河川レンジャーの活動範囲となります(運営要領第 8 条)。

また、河川レンジャーは、本来の活動範囲以外の場所でも活動を行えるよう、活動範囲の拡大も認められています。

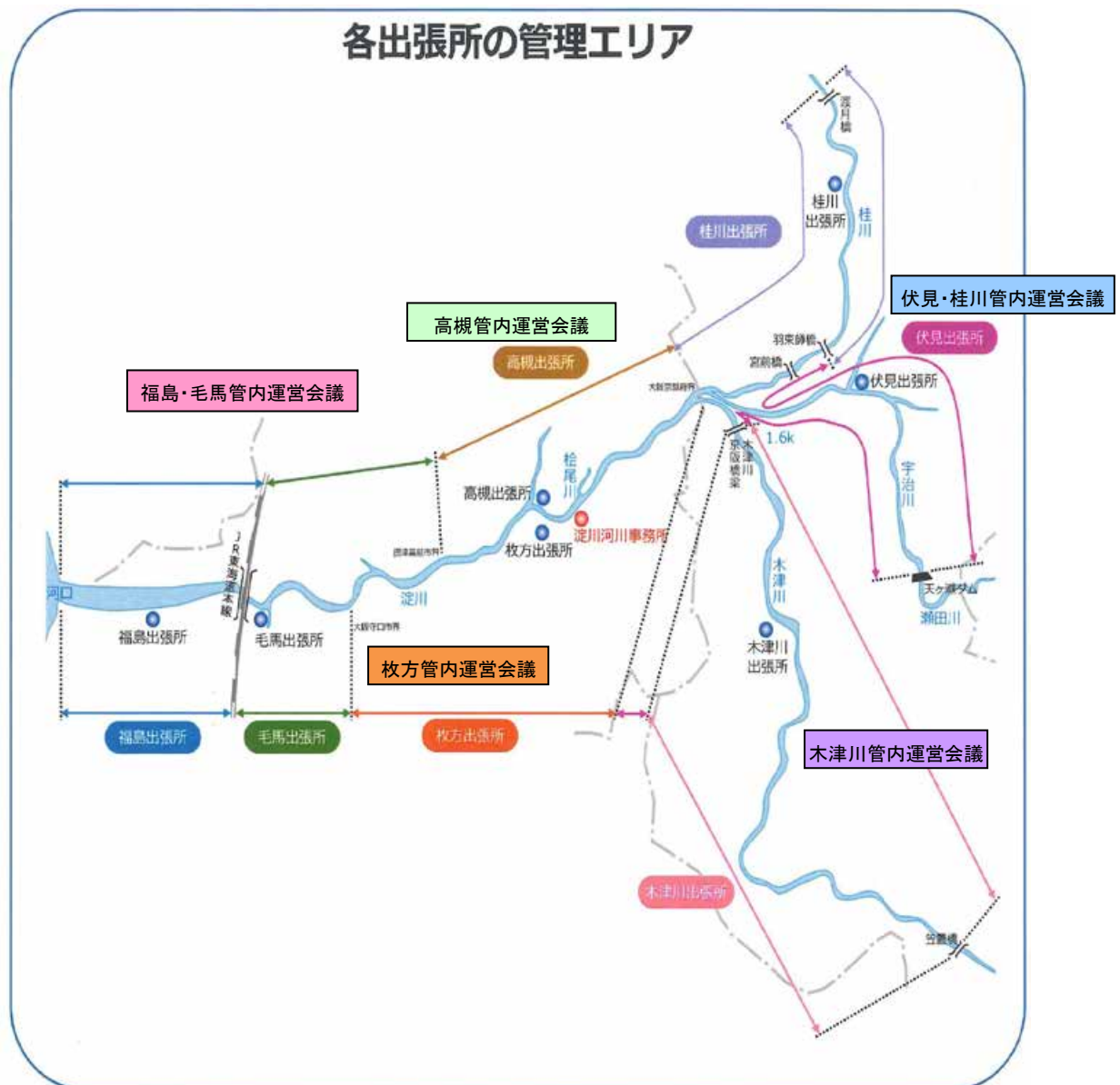


図 2.1 淀川管内各運営会議管轄範囲

2.4 河川レンジャーの活動分野について

河川レンジャーが行う活動については、運営要領に 10 の内容が定められています(運営要領第 11 条)。

河川レンジャーの活動内容	
(1)	防災・救援・救難の推進を図る活動
(2)	河川的环境保全を図る活動
(3)	河川の適正な利用の推進を図る活動
(4)	節水意識の普及・啓発活動
(5)	日常的な河川管理活動
(6)	河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動
(7)	河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動
(8)	川づくり・まちづくりへの参画・支援活動
(9)	川の人材を育成する活動
(10)	河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信

本計画では、以上の活動内容について、河川レンジャー自身が貢献したと考えている活動分野を 6 つに分類整理しています。

表 2.1 本計画で用いる河川レンジャーの活動分野の分類

活動分野	事例
治水・防災	河川管理施設の学習会、水害・水防工法の体験学習、マイ防災マップづくり、避難活動
環境保全	自然観察、外来種の除去、生物調査、水質調査
河川利用	河川利用者への安全指導、不法投棄・不法工作の把握、節水意識の啓発、E ボート体験
維持管理	清掃活動、水辺の安全利用点検、河川管理施設等の異常箇所の把握
歴史・文化	河川に係わる史跡の探訪、歴史・文化講座
川づくり・人づくり	ワークショップ、意見交換会 ジュニア河川レンジャーの養成、河川愛護団体の創出

3. 令和4年度河川レンジャー展開の方向

視点① 地域に必要と考えられる活動からの展開

(1) 沿川自治体で推進している事業

【福島出張所管内】

大阪市の方針に基づく施策では、自然災害に対する安全強化や、市の魅力向上を重視した事業が展開されています。

沿川各区分の将来ビジョンをみると、大規模災害を想定した地域主体の防災機能の向上が地域の大きな課題となっています。河川レンジャーの活動としては、「治水・防災」「川・人づくり」の分野での展開が考えられます。また、地域の魅力向上の観点から、「環境保全」「維持管理」の活動も求められています。

表 3.1 沿川自治体の河川レンジャーとの連携が模索できる事業およびその展開（分野）

自治体名	計画名(策定年月) 【計画期間】	施策名	治水・ 防災	環境 保全	河川 利用	維持 管理	歴史・ 文化	川・人 づくり
大阪 市	大阪市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 (R3.9改訂) 【R2～R6年度】	都市魅力の創造・発信					●	●
		環境先進都市大阪の実現		●	●	●		
		市民生活の安全・安心の確保	●					●

自治体名	計画名(策定年月) 【計画期間】	まちづくりの方針	治水・ 防災	環境 保全	河川 利用	維持 管理	歴史・ 文化	川・人 づくり
西淀 川区	令和4年度 西淀川区 運営方針(素案) (R3.11) 【R4年度】	地域コミュニティの活性化とまちの魅力向上	●				●	●
		「子育て・教育」を応援するまちづくり	●	●	●		●	●
		安全で快適なまちづくり	●	●	●	●		
淀川 区	淀川区将来ビジョン2022 (H30.6) 【H30～R4年度】	安全・安心なまちづくり(①防災対策)	●					
		つながるまちの実現(②多様な協働の推進)	●	●	●	●	●	●
此花 区	此花区将来ビジョン (R3.3) 【R2～R5年度】	災害が発生した時または発生のおそれがある時に、すべての区民が様々な条件(災害の種類・自宅の立地条件や建物の種別・避難開始のタイミング)に応じた適切な避難行動ができるまち	●					●
		区民ひとりひとりが地球環境や地域社会をよくする取り組みを行い、地域課題解決のための新たな担い手となって各種地域団体に参加することで、地域活動協議会(地活協)が活性化し、様々な主体と地域課題や地域社会の将来像を共有しながら、自律的な地域運営を行っているまち	●	●	●	●	●	●
福島 区	福島区将来ビジョン (H30.4) 【H30～R3年度】	地域力の強化による防災対策	●					●
		地域活動の活性化	●	●	●	●	●	●
		花と緑のまちづくり		●				
北 区	北区将来ビジョン (R3.3) 【R3～R5年度】	地域課題の解決に向けた取り組み	●	●	●	●	●	●
		災害時にも支え合えるつながりづくり	●					●

【毛馬出張所管内】

大阪市および摂津市では、自然災害に対する安全強化や、市の魅力向上を重視した事業が展開されています。

沿川各区分の将来ビジョンをみると、大規模災害を想定した地域主体の防災機能の向上が地域の大きな課題となっています。河川レンジャーの活動としては、「治水・防災」「川づくり・人づくり」の分野での展開が考えられます。

また、地域の魅力向上の観点から「環境保全」「維持管理」分野の活動も求められています。

表 3.2 沿川自治体の河川レンジャーとの連携が模索できる事業およびその展開（分野）

自治体名	計画名(策定年月) 【計画期間】	施策名	治水・ 防災	環境 保全	河川 利用	維持 管理	歴史・ 文化	川・人 づくり
大阪市	大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (R3.9 改訂) 【R2～R6年度】	都市魅力の創造・発信					●	●
		環境先進都市大阪の実現		●	●	●		
		市民生活の安全・安心の確保	●					●
摂津市	摂津市行政経営戦略/ 第4次摂津市総合計画 (R3.3) 【R3～R7年度】	避難場所・避難路の確保	●					
		自主防災活動の支援	●					
		河川公園・緑地の整備			●			
		協働による河川管理の推進				●		
		協働による環境活動の推進		●				
		環境保全への取組みの促進		●				
		地域や市のイベントと連携した環境教育の推進		●				
東淀川区	東淀川区将来ビジョン (H30.1) 【H29～R3年度】	自助・共を担う地域力と、にぎわいのある元気なまち		●		●	●	●
		安全・安心のまち	●					
北区	北区将来ビジョン (R3.3) 【R3～R5年度】	地域課題の解決に向けた取り組み	●	●		●		●
		地域防災力の向上	●					
都島区	都島区将来ビジョン 2025 (R3.3) 【R3～R7年度】	防災のまちづくり	●					●
		安全で美しいまちづくり		●		●		
		コミュニティ豊かなまちづくり						●
		魅力あるまちづくり		●	●		●	●
旭区	旭区将来ビジョン2022 (H30.3) 【H30～R4年度】	コミュニティ活性化のための取組	●	●	●	●	●	●
		まちの魅力創出や地域経済活性化施策の展開		●	●		●	
		防災体制の充実	●					●

※) 福島区、西淀川区、東淀川区については、令和4年度からの計画が未策定のため現行の計画を参考とする。

(2) 地域の河川事業

淀川本川の洪水・高潮対策として、平成30年度より阪神なんば線淀川橋梁改築事業の工事が開始されています。また、海老江 JCT から豊崎までの区間を地下に道路を建設する淀川左岸線2期工事が開始されています。

これら工事の見学や学習会等、「治水・防災」に関する活動展開が期待されます。

また、淀川舟運の取り組みとして、淀川大堰への閘門の設置や十三船着場の整備が進められています。各施設の役割や舟運の歴史等について、住民に伝える「治水・防災」「歴史・文化」の活動展開が期待されます。



図 3.1 阪神なんば線淀川橋梁改築事業
(淀川河川事務所作成パンフレット (H29.9) より抜粋)



図 3.2 淀川舟運の取り組み
 (淀川河川事務所ホームページより抜粋)

(4) 地域住民のニーズからの展開

① アンケート調査の概要

河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

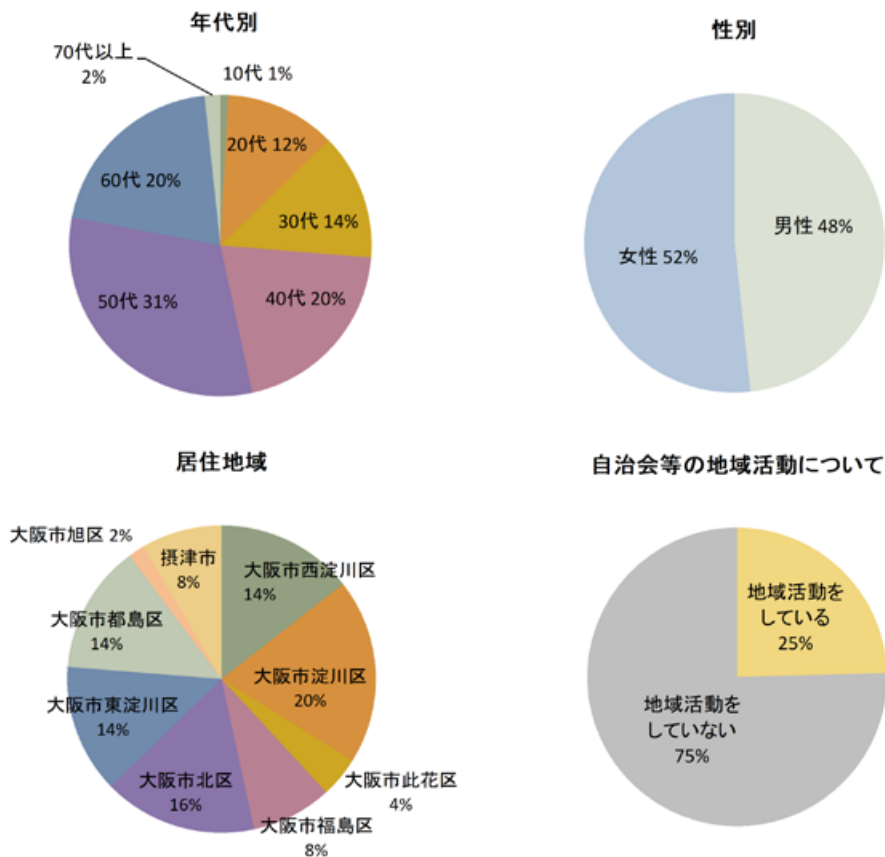
表 3.3 アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和3年10月26日～27日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	118

*分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成22年3月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

【福島・毛馬出張所管内回答者属性】

回答者は、40～60代を中心とし、大阪市内の淀川区や北区に多く居住しています。自治会等の地域活動への参加率は25%です。

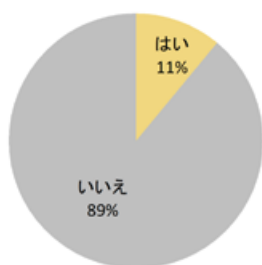


②アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ

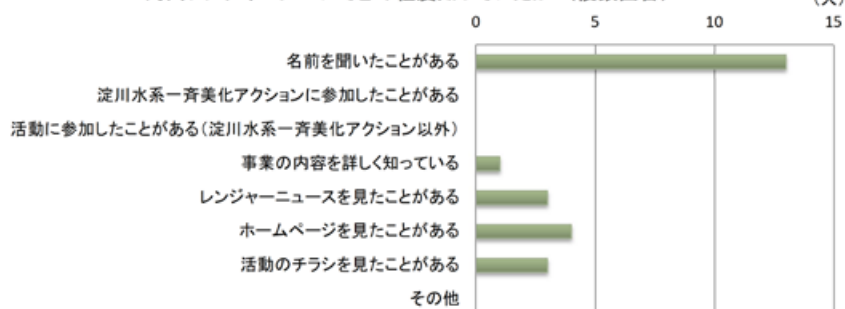
〈河川レンジャーの認知度〉

河川レンジャーの認知度は11%（昨年調査24%）であり、名前を聞いたことがあるという方が多数で、その他、ホームページやレンジャーニュースを見たことがあると答えた方が数名いました。

河川レンジャーについて知っていたか



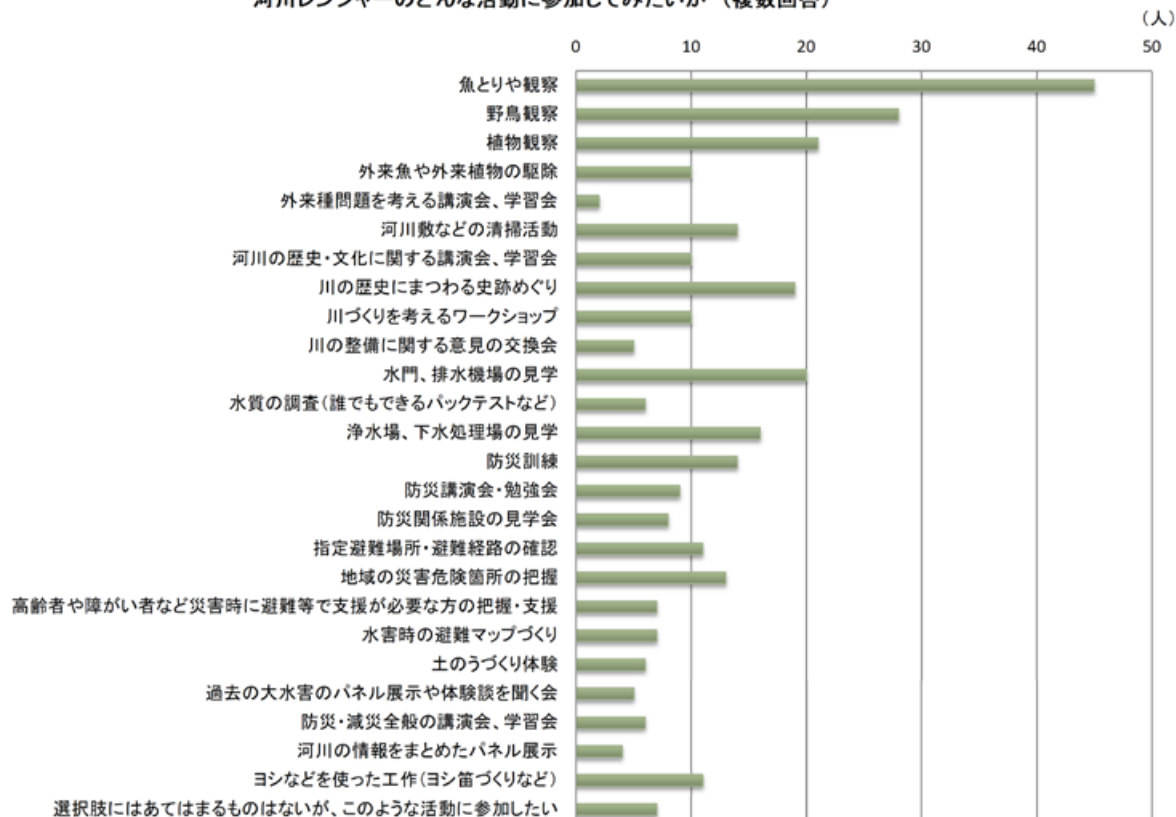
河川レンジャーについてどの程度知っていたか（複数回答）



〈参加を希望する活動〉

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては、魚とりや観察の活動への希望が最も多く、その他野鳥等の自然観察、史跡めぐり、河川管理施設の見学等が多数希望されています。

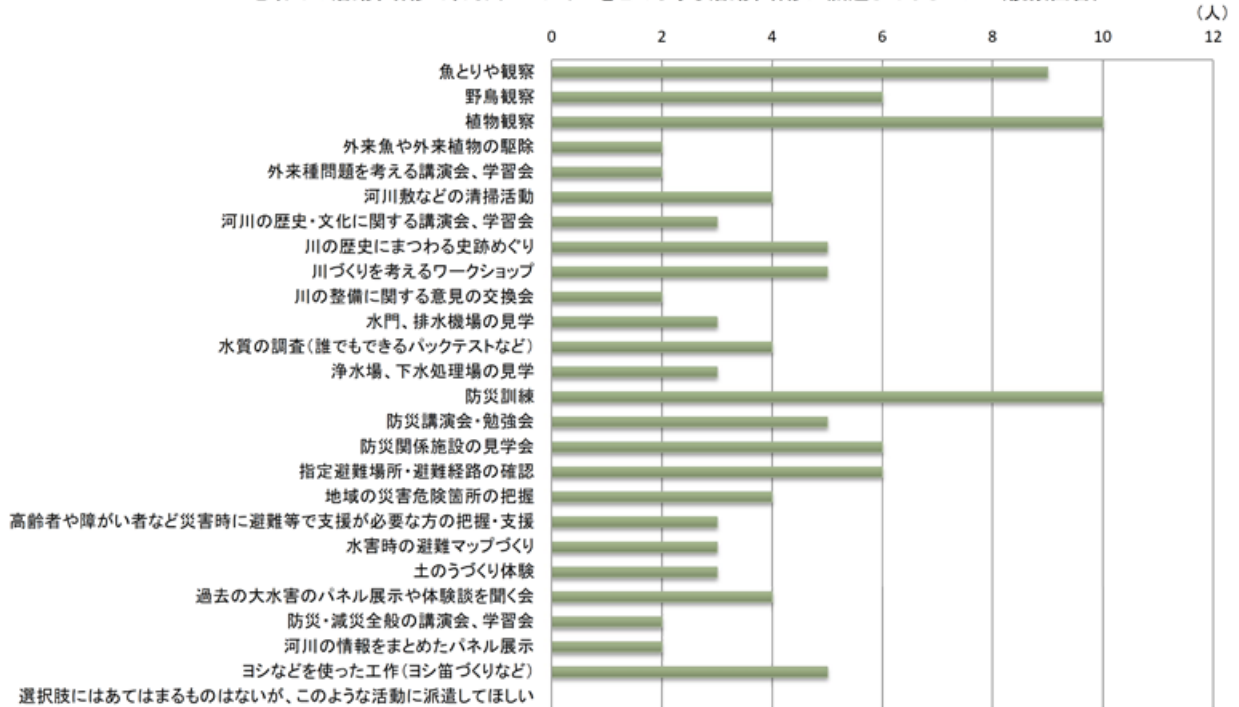
河川レンジャーのどんな活動に参加してみたいか（複数回答）



＜地域活動への支援ニーズ＞

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては、魚とりや植物等の自然観察と防災訓練への希望が最も多くなっています。(地域活動を行っている方のみの回答)

地域での活動、研修で、河川レンジャーをどのような活動、研修に派遣してほしいか（複数回答）



(5) 地域に必要と考えられる活動からの展開

【福島出張所管内】

これまでに整理した現状から、当管内では「治水・防災」「環境保全」「歴史・文化」「維持管理」「川づくり・人づくり」の分野での活動の展開が考えられます。

【毛馬出張所管内】

これまでに整理した現状から、当管内では「治水・防災」「環境保全」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」の分野での活動の展開が考えられます。

視点② 河川レンジャーの活動状況からの展開

(1) 来年度に活動が予定されている分野、地域

【福島出張所管内】

来年度は、当管内で3名の河川レンジャーが活動を予定しています。

西淀川区、淀川区、北区、東淀川区を中心に「治水・防災」「環境保全」「歴史・文化」分野の活動が予定されています。

【毛馬出張所管内】

来年度は、当管内で4名の河川レンジャーが活動を予定しています。

北区、都島区、旭区を中心に、「治水・防災」「環境保全」「維持管理」分野での活動が予定されています。摂津市では、昨年度から引き続き「環境保全」の活動が予定されています。

福島・毛馬管内では、「河川利用」の分野の活動がありません。

表 3.4 令和4年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり人づくり	行政区										
								大阪市								摂津市	その他	
								西淀川区	淀川区	此花区	福島区	北区	東淀川区	都島区	旭区			
桑村 和男 (福島)	淀川歴史まちあるき					●												
	バッタのオリンピック(福島地区)		●															
	新北野コシ原再生観察		●															
	マイ・タイムライン出前授業	●						●										
山本 雅彦 (福島)	水防災勉強会	●																
	水道記念館施設見学と水質調査①		●								●							
	水道記念館施設見学と水質調査②		●								●							
	紙漉き・卒業証書製作						●											
牧野 高輝 (福島)	「淀川を知ろう！」ゲームやクイズで楽しく川を知ろう！ 課外学習会	●																
	淀川大堰の魚道観察・施設見学会		●							●								
伊藤 茂 (毛馬)	子ども防災 マイタイムライン	●														●		
	赤川ワンドの生き物観察会Ⅰ		●													●	●	
	赤川ワンドの生き物観察会Ⅱ		●													●	●	
	バッタオリンピック		●													●	●	
	OSAKA CITY 淀川左岸クリーン作戦					●										●	●	
	クロベンケイガニ釣り						●											
岸田 俊徳 (毛馬)	毛馬排水機場見学	●														●		
	植物採集		●														●	
	淀川右岸三区合同クリーン大作戦(東淀川区)					●												
	【淀川の歩き方】見て、聞いて、歩いてシリーズ マイ・タイムライン作成	●																● 大阪市内・枚方市内
松田 正浩 (毛馬)	【淀川の歩き方】見て、聞いて、歩いてシリーズ 河川管理施設の見学	●																● 大阪市内
	淀川右岸三区合同クリーン大作戦(西淀川区)					●												
連携活動	淀川右岸三区合同クリーン大作戦(西淀川区)					●												
	烏飼ワンド大作戦		●															●

注1)活動分野は、事務局の判断で分類

注2)計画段階のため、主要な分野で分類

(2) これまでの活動状況からみた活動分野、場所

令和2年度の活動状況からみると、主に「治水・防災」「環境保全」「歴史・文化」の活動が、大阪市内（北区、西淀川区、淀川区、旭区、都島区）、摂津市で実施されています。



図 3.3 河川レンジャー・グループ河川レンジャー活動分布図

活動分布図は、色で河川レンジャーの活動分野を、円の大きさを活動回数で示しています。令和2年度は、全管内で40回（アドバイザーの活動回数は含んでいません）活動が実施されており、そのうち運営会議の管轄範囲に該当する地域を抽出して掲載しています。

(3) 河川レンジャーの活動状況からの展開

【福島出張所管内】

今年度、当管内では、北区、西淀川区を中心に防災学習会や歴史探訪や河川美化等、「治水・防災」「歴史・文化」「維持管理」の活動が行われています。また、河川レンジャーアドバイザーによる干潟の自然観察会等の「環境保全」の活動が実施されており、今後もこれらの活動の継続が必要であると考えられます。



河川清掃(平井 R)



淀川歴史まち歩き 西淀川編(桑村 R)



庭窪水害防災講座(森 R)

【毛馬出張所管内】

今年度、当管内では、都島区、旭区を中心に活動が実施されており、なかでも子どもを対象とした自然観察会等、「環境保全」分野の活動が多く実施されています。

また、ワンドの外来植物駆除「環境保全」分野の活動が実施されており、今後もこのような活動の継続が必要であると考えられます。



バッタのオリンピック(伊藤 R)



淀川名人養成講座(岸田 R)



バッタのオリンピック(谷口 R)



鳥飼ワンド外来水草除去大作戦(連携)

4. 河川レンジャーの推薦人数について

地域における河川レンジャー活動の継続という観点から、河川レンジャーの任期について確認し、令和4年度の河川レンジャーの推薦人数について検討します。

各出張所管内に在籍する河川レンジャーは、5名程度を目安に募集を行っており、最大5名を超えないように運用してきましたが、近年、志望者に対し、募集枠を超えていたり、希望出張所では募集が無かったり等、諦めざるを得ない事例が目立っています。人材の流出を防ぐため、河川レンジャーの人員を出張所あたり6名までを目安として運用することとします。ただし、6人目は、河川レンジャーとしての適正が高いと代表者会議で審査された方を対象とします。

【福島出張所管内】

福島出張所管内では、令和4年度は3名が在籍の予定です。

試行期間の河川レンジャーが、多く活動回数や活動が計画されている自治体は限られていることから、管内全域で活動する河川レンジャーが必要なため、重点地区は定めず、広く人材を求めます。

また、管内における河川レンジャー活動の継続性からみて、新規に河川レンジャーとして必要な人員は2名とします。

なお、募集人数を確定する時点において、辞任や転籍の意向を把握調整した上で、最終的な募集人数を確定します。

表 4.1 令和4年度河川レンジャーの任期（満期までの活動を想定）

出張所	氏名	任命年	キャリア(R4)	R4	R5	R6	R7	R8
福島	桑村 和男	R1	1期2年目					
	山本 雅彦	R2	試行期間※					
	牧野 高輝	R3	試行期間					
	〇〇 〇〇	R4	(予定)	募集				
	〇〇 〇〇	R4	(予定)	募集				
	募集なし	R5	(予定)					
	：	：	：	：	：	：	：	：
計				5名	5名	5名	4名	3名

試行期間

第1期

第2期

特例再任第1期

特例再任第2期

【毛馬出張所管内】

毛馬出張所管内では、令和4年度は4名が在籍の予定です。

管内全域で活動する河川レンジャーが必要なため、重点地区は定めず、広く人材を求めます。

また、管内における河川レンジャー活動の継続性からみて、新規に河川レンジャーとして必要な人員は1名とします。

なお、募集人数を確定する時点において、辞任や転籍の意向を把握調整した上で、最終的な募集人数を確定します。

表 4.2 令和4年度河川レンジャーの任期（満期までの活動を想定）

出張所	氏名	任命年	キャリア(R4)	R4	R5	R6	R7	R8
毛馬	阿部 晟大	H29	2期2年目					
	伊藤 茂	H29	2期2年目					
	岸田 俊徳	R2	試行期間※					
	松田 正浩	R3	試行期間					
	〇〇 〇〇	R4	(予定)	募集				
	〇〇 〇〇	R5	(予定)		募集			
	〇〇 〇〇	R5	(予定)		募集			
	：	：	：	：	：	：	：	：
	計			5名	5名	5名	5名	5名

試行期間
 第1期
 第2期
 特例再任第1期
 特例再任第2期

※再任審査の延期に伴い試行期間が令和4年8月までとなります。該当の河川レンジャーが上期代表者会議で再任された場合の人数としています。

5. 令和4年度河川レンジャーの展開について

以上の結果を整理し、河川レンジャー展開計画案としてとりまとめます。

【福島出張所管内】

視点①地域に必要と考えられる活動展開

沿川自治体の将来計画等から、「治水・防災」「環境保全」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」の分野の河川レンジャー活動が必要であると考えられます。

具体的な活動イメージとして次のようなものが考えられます。

- ①河川環境、防災、地域の歴史文化に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動
- ②地域づくり、川づくりに無関心な層に働きかける活動
- ③個人・団体・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

視点②河川レンジャーの活動状況からみた活動展開

- ・ これまでに実施されてきた活動の継承として、「治水・防災」「環境保全」「歴史・文化」「維持管理」の分野での活動が必要であると考えられます。これらの分野の活動について、次年度に活動が計画されています。
- ・ 「河川利用」の活動は、実施予定がありません。
- ・ 大阪市福島区、此花区での活動は、予定されていません。

以上の地域のニーズ及び河川レンジャーの活動状況を踏まえ、当管内では「治水・防災」「環境保全」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」の分野の活動が必要であると考えられます。

なかでも、大規模災害への備えについて地域のニーズも高い「治水・防災」、自然環境について地域住民の興味・関心を高める活動が必要と考えられることから「環境保全」の2分野を重視します。

これらの分野の具体的な活動イメージは次の通りです。

- ①河川環境、防災に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動
- ②個人・団体・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

【毛馬出張所管内】

視点①地域に必要と考えられる活動展開

沿川自治体の総合計画等から、「治水・防災」「環境保全」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」の河川レンジャー活動が当地域に必要であると考えられます。

具体的な活動イメージとして次のようなものが考えられます。

- ①河川環境、防災、地域の歴史文化に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動
- ②地域づくり、川づくりに無関心な層に働きかける活動
- ③個人・団体・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

視点②河川レンジャーの活動状況からみた活動展開

- ・ これまでに実施されてきた活動の継承として、「治水・防災」「環境保全」の分野での活動が当地域に必要と考えられます。これらの分野の活動について、次年度に活動が計画されています。
- ・ 「河川利用」「歴史・文化」の活動は、実施予定がありません。

以上の地域のニーズ及び河川レンジャーの活動状況を踏まえ、当管内では「治水・防災」「環境保全」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」の活動が必要であると考えられます。

なかでも、大規模災害への備えについて地域のニーズも高い「治水・防災」、魅力的な地域づくりの視点から「維持管理」、これまでの活動の継続の視点から「環境保全」、地域ニーズがあるものの活動の実施予定がない「歴史・文化」を重視します。

これらの分野の具体的な活動イメージは次の通りです。

- ①河川環境、防災、地域の歴史文化に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動
- ②地域づくり、川づくりに無関心な層に働きかける活動
- ③個人・団体・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動

表 5.1 令和 4 年度 福島・毛馬出張所管内 新規河川レンジャー展開計画（案）

管内	推薦人数※	重視する活動区域	活動内容等
福島出張所管内	2名	特になし	<p>必要であると考えられる分野は「治水・防災」「環境保全」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」です。</p> <p>なかでも「治水・防災」「環境保全」分野を重視します。</p> <p>【具体的な活動イメージ】</p> <p>①河川環境、防災に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動</p> <p>②個人・団体・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動</p>
毛馬出張所管内	1名	特になし	<p>必要であると考えられる分野は「治水・防災」「環境保全」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」です。</p> <p>なかでも「治水・防災」「環境保全」「維持管理」「歴史・文化」分野を重視します。</p> <p>【具体的な活動イメージ】</p> <p>①河川環境、防災、地域の歴史文化に関する知見をもとに、わかりやすく地域の人々（子どもを含む）に伝える活動</p> <p>②地域づくり、川づくりに無関心な層に働きかける活動</p> <p>③個人・団体・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動</p>



図 5.1 令和 4 年度 福島・毛馬出張所管内展開計画（案）

注) 淀川本川以外での活動について

河川レンジャーは淀川本川の沿川地域で活動を展開します。ただし、本川において中心的に活動することを前提に、神崎川、旧淀川等の支川へ活動範囲を広げることができます。